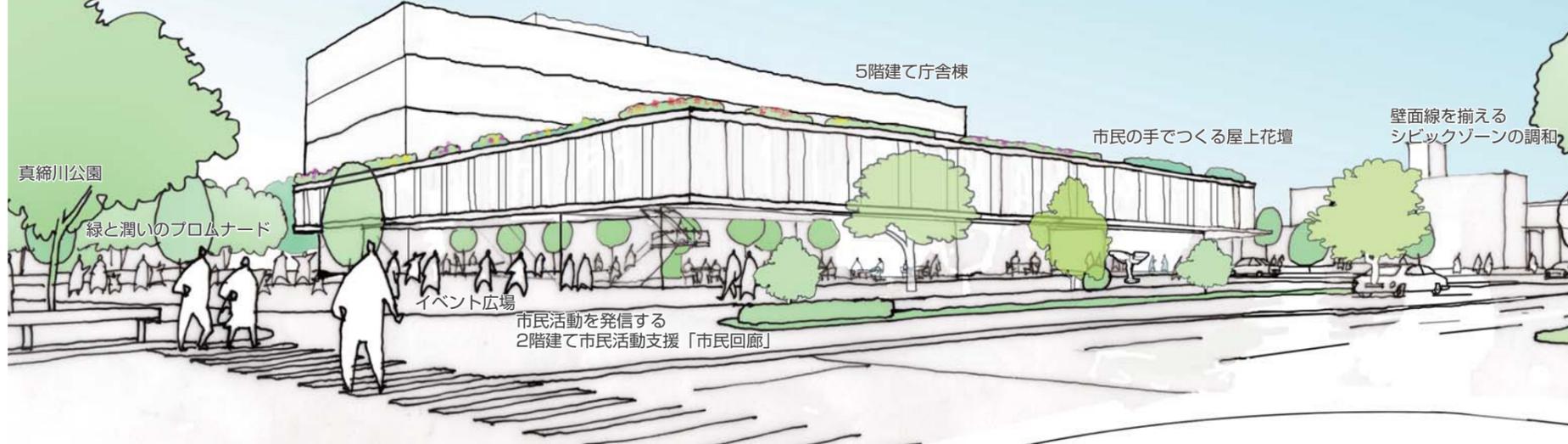


# 「回廊型の庁舎」が美しい街と市民をつなぎ、宇部100年の未来を創る

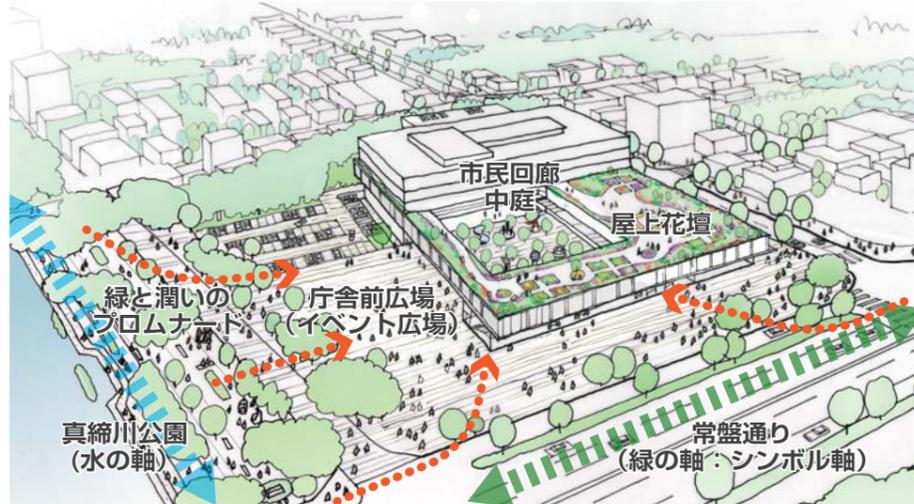
市庁舎は「緑の軸」と「水の軸」が交差する、街で一番大切な場所に位置します。これらの軸に導かれる人の流れや自然・風景を庁舎づくりに取り込み、宇部の美しさを感じ、街づくりを先導する庁舎を提案します。

さらに新市庁舎が市内の3つの重点整備地区をつなぎ、街をいきいきと活性化し100年の未来をつくる街づくりにもつながる視点も大切であると考えます。



「緑と花と彫刻のまち」を先導する、市民の憩いの場：まちづくり拠点機能

## 1. 宇部の誇り: 緑・水・花・彫刻の美しさを演出する「広場」



### 緑と潤いのプロムナード

- 真締川の美しさを感じるために敷地西側は緑豊かな潤いの広場とします。

### 市民回廊中庭

- 待合ロビーの借景、木陰の下での語り合いの場として緑と彫刻のポケットパークは宇部の美しさを感じる広場です。

### 市民みんなで作る: 屋上花壇(広場)

- 屋上は屋上花壇として、これまで育んできた花壇コンクールを未来に繋げるために市民の手でつくります。

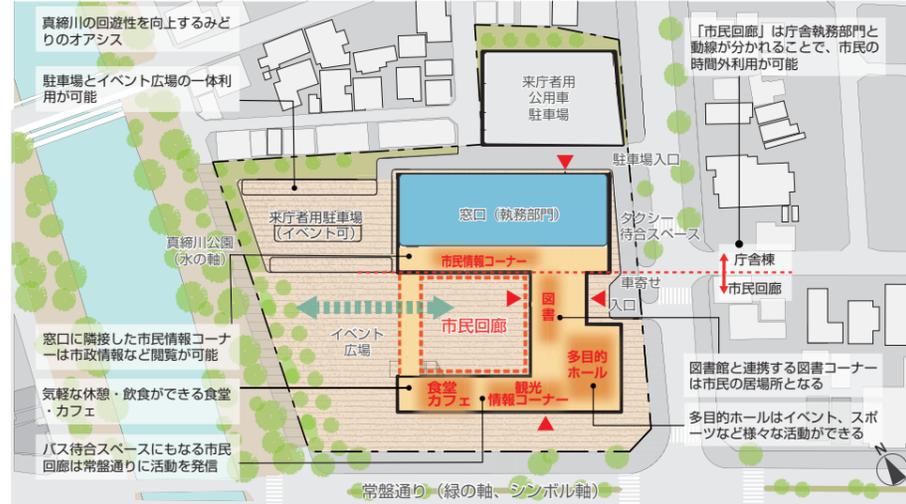
### 駐車場利用も可能なイベント広場

- 南西側はイベント広場として、宇部まつりメインステージやイベント活用、防災広場まで幅広い活用が可能です。



市民活動を支援し、市民自らがつくる交流の場：市民活動支援機能

## 2. 「市民回廊」が街とつながり、活動を誘発する

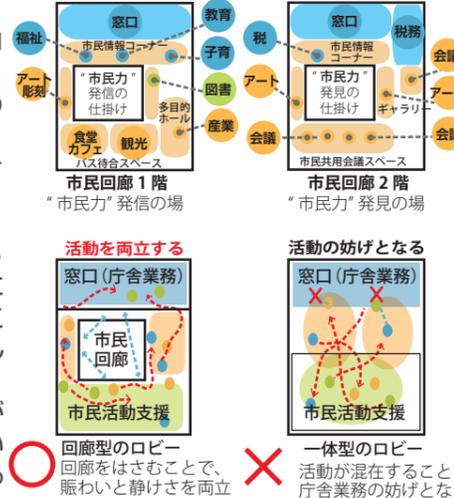


### 市民活動支援を促進する「市民回廊」

- 常盤通りに面して、中庭を囲み情報コーナー、多目的ホール、食堂、会議(2階)をワンルームに配置した2層の市民の活動拠点とします。
- 常盤通りに面したカフェや情報コーナーは街に多様な活動を発信します。

### 市民活動の賑わいと庁舎の静寂を両立

- にぎわい創出のための市民活動支援に対し、庁舎業務には静寂が必要です。この相反する機能を「市民回廊」が両立します。
- 中庭が緩衝空間となり活動が見えながらも音を遮ることが可能となり、賑わい創出に向けた多様な活動を受け入れることが可能な計画です。



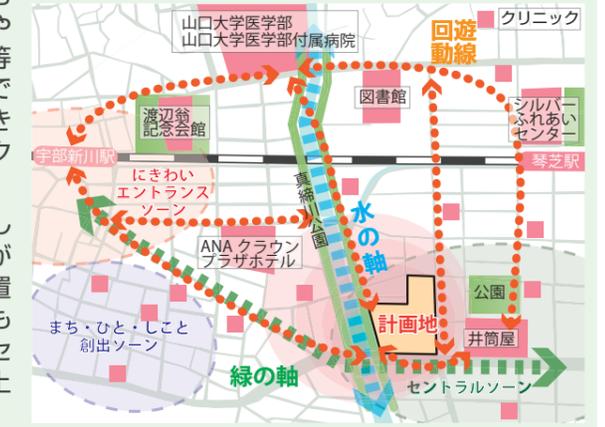
## 『宇部市にぎわいエコまち計画』に示す多極ネットワーク型コンパクトシティへの転換に向けて 宇部市健康都市宣言：ヘルスケアシティの行政拠点

半径800m圏内の公共施設～医療施設～公園等を魅力的な回遊動線をつなぐ

市庁舎は「健幸長寿のまち宇部」実現に向けて、多世代コミュニティ、タウンマネジメント、健康相談等の行政の核施設となります。

「水の軸」と「緑の軸」を囲むように、市庁舎と公共施設や充実した医療施設、公園等を楽しく歩ける回遊動線をつなぎ、街全体が生き生きと魅力を高めるネットワークを構築します。

市庁舎には、2つの軸に面して広場や市民同士がつながる市民協働スペースを配置するとともに都市景観にも配慮し、市役所周辺地区(セントラルゾーン)の魅力向上と活性化をはかります。



※H28.11.26 宇部市健康都市宣言

まちづくりを先導する都市景観の調和

## 3. 庁舎と真締川公園をつなぐ「緑と潤いのプロムナード」



### 川の豊かな自然と触れ合う、地域に愛される水辺空間の整備

- 水と緑のオープンスペースとして、彫刻散策、釣り、川下り等人々にうるおいと安らぎを与えます。水鳥や魚など川の豊かな自然と触れあうために河川側に沿って緑地を確保し、庁舎と将来親水改修を行う真締川公園をつなぎます。

まちづくりを先導する都市景観の調和

## 4. 常盤通りへのかたちを揃え、まちをつなぐ「庁舎景観」

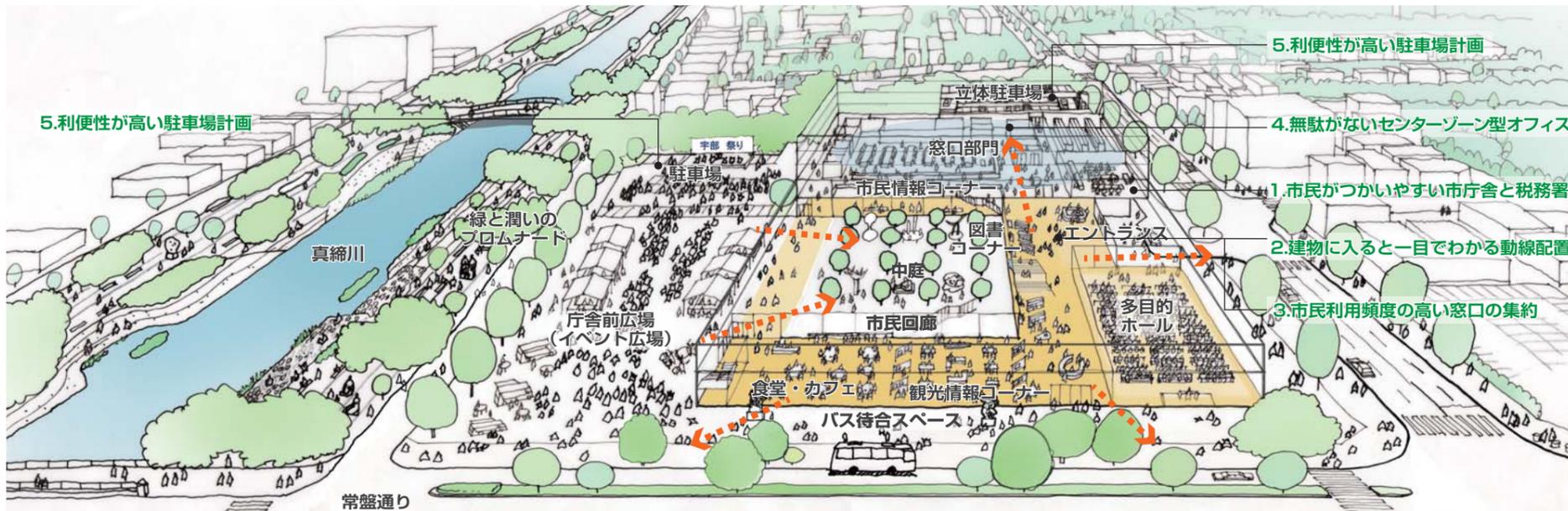


### シビックゾーンの骨格を形成し、常盤通りの都市景観と調和

- 常盤通りを挟んで建築による街区の骨格を形成し、山口銀行との色彩計画の調和、縦基調の外壁とすることで宇部中心地区の街並み景観を形成します。
- 低層棟「市民回廊」の南・東壁面線を隣接街区とそろえることで常盤通りの統一した都市景観を形成します。



# 「市民回廊」を中心とした市と国の一体的整備により、誰もが利用しやすく、市民協働を誘発する庁舎を実現する



## 市庁舎と税務署の一体的整備のメリット

### 1. 市民が使いやすい市庁舎と税務署

**市民税課と税務署を2階同一フロアに配置**

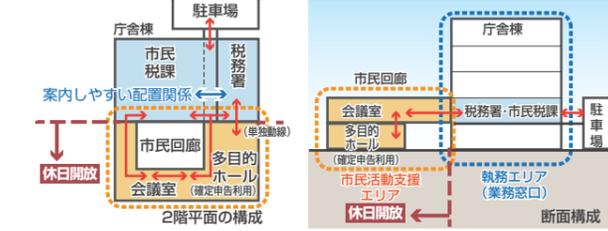
- 税務署と市民税課を2階同一階とし待合ロビーから見渡せることで、国税、市税の行き先が分からない人や双方利用の手続きを可能とします。

**独立運用が可能な税務署**

- 税務署から単独動線を確保し、異なる業務時間の対応が可能です。

**確定申告時に多目的ホールや会議室の利用が可能**

- 回廊型の配置にすることで、市役所と税務署の双方が市民活動棟2階の会議室を使いやすい計画です。
- 確定申告時の会場として1階多目的ホールの利用を可能とするため、2階税務署から職員が市役所ゾーンを bypass して往来可能な単独ルートを確認します。



## 機能が明快な庁舎の実現

### 2. 建物に入ると一目でわかる動線配置

**来庁者・職員を明解に分離した動線計画**

- 庁舎中央に来庁者動線、北西側に職員動線と分離することで、迷わず庁舎を利用でき、セキュリティ区分を明確にします。

**賑わいと静けさを両立: 低層棟+高層棟**

- 1,2階の「市民回廊」に市民活動支援機能(多目的ホールなど)を集約し、賑わいの場所とします。
- 一方執務部門はコンパクトな5階建てとし静かな執務環境をつくります。

## 市民が来庁しやすい庁舎の実現

### 3. 市民利用頻度の高い窓口の集約

**行先が一目でわかる窓口部門**

- 入口から総合案内、各窓口、エレベータ、WCなど目的の場所が一目でわかる、誰もが使いやすい構成です。
- 来庁者が迷わないよう、階段、エレベータ、トイレは集約して配置します。
- 利用頻度の高い窓口を集約し、ほとんどの要件が1階で完結します。

**総合案内そばに子育て支援スペース**

- 総合案内に面してキッズスペースや授乳室を配置し、利用者の要望に応えます。

**相談用窓口の充実**

- 窓口カウンター奥にプライバシーを守る相談用窓口、相談室を設けます。



## 職員が働きやすい庁舎の実現

### 4. 無駄がないセンターゾーン型オフィス

**南北面採光の効率のよいセンターコア型オフィス**

- 基準階は中央に来庁者用階段、エレベータ、少人数会議室、トイレ、書庫を配置
- 無柱空間の執務室は有効率が高くレイアウトの柔軟性、用途変更に対応可能
- 北西側に職員用階段、エレベータ

## 車で来庁しやすい庁舎の実現

### 5. 利便性が高い駐車場計画

**駐車場出入口は現在と同じ東側道路面に計画**

- 新庁舎北側に230台分の立体駐車場を集約配置し、現在と同様に東側道路からの車の出入とし、来庁者に分かりやすく、交通負荷の少ない計画とします。
- 駐輪場は敷地の高低差を利用し立体駐車場1階に260台設置します。

**立体駐車場と新庁舎を渡り廊下で接続**

- 新庁舎と立体駐車場を2階渡り廊下で接続することにより、庁舎が時間外の時でも、2階の市民活動エリアに直接アクセスできる計画です。

**市役所と税務署の駐車場の共用利用**

- イベント広場も臨時駐車場利用が可能。確定申告時期など繁忙期に対応します。

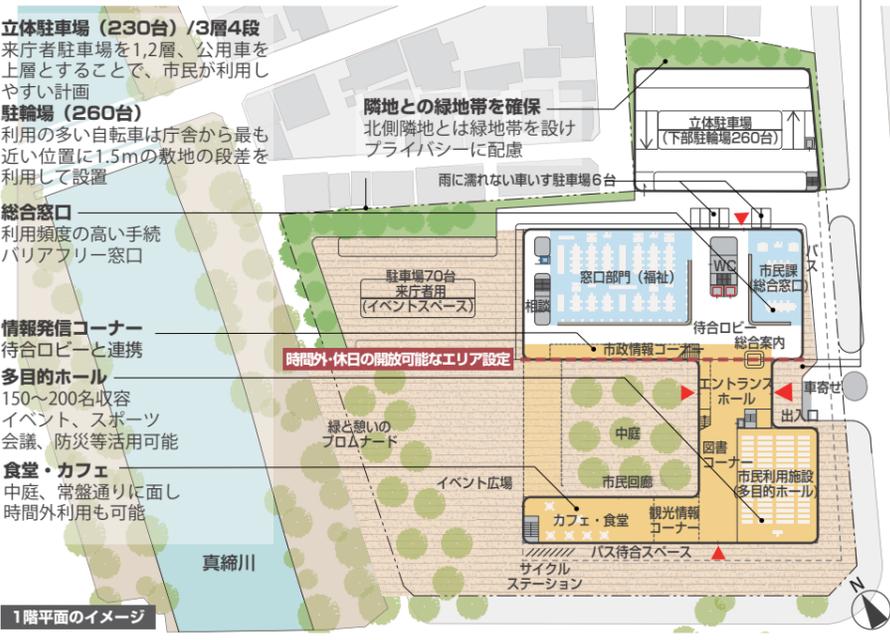
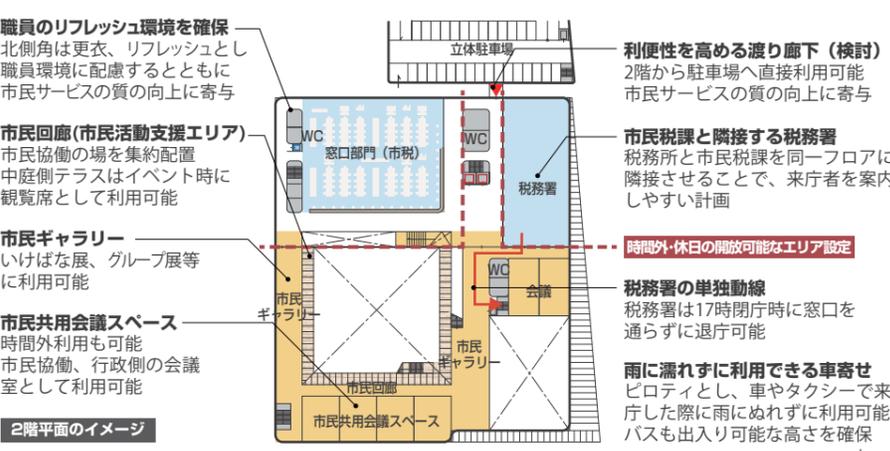
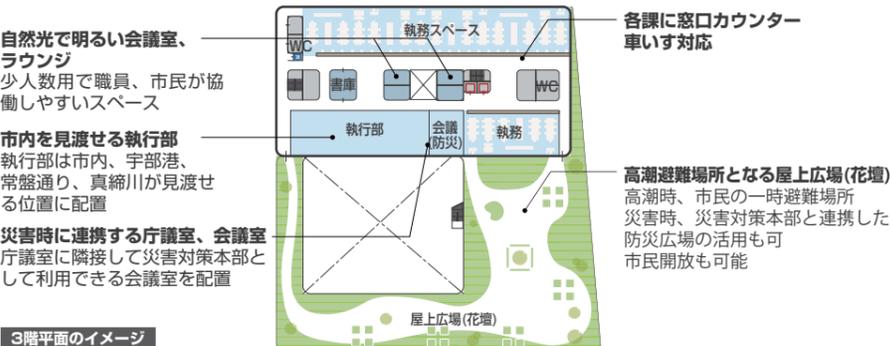
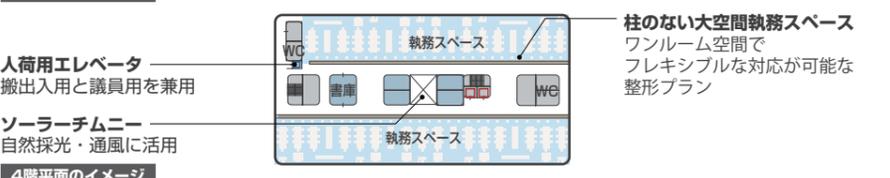
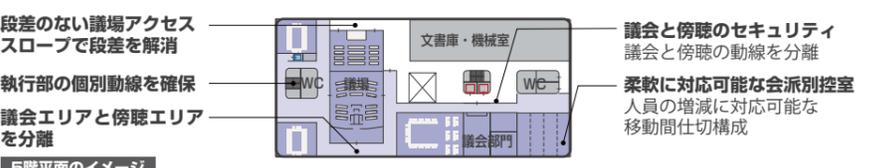


## 子育て世代や高齢者が利用しやすい庁舎の実現

### 6. ユニバーサルデザインの徹底

**ユニバーサルデザインの段階的改善によるレビュー**

- 高齢者や子育て世代が利用しやすい計画とします。
- 基本設計から現場まで段階的にユニバーサルデザインレビューを行いステップアップしていく計画とします。



**議会と傍聴のセキュリティ**  
議会と傍聴の動線を分離

**柔軟に対応可能な会派別控室**  
人員の増減に対応可能な移動間仕切り構成

**柱のない大空間執務スペース**  
ワンルーム空間でフレキシブルな対応が可能な整形プラン

**各課に窓口カウンター車いす対応**

**高潮避難場所となる屋上広場(花壇)**  
高潮時、市民の一時避難場所  
災害時、災害対策本部と連携した防災広場の活用も可  
市民開放も可能

**利便性を高める渡り廊下(検討)**  
2階から駐車場へ直接利用可能  
市民サービスの質の向上に寄与

**市民回廊(市民活動支援エリア)**  
市民協働の場を集約配置  
中庭側テラスはイベント時に観覧席として利用可能

**市民ギャラリー**  
いけばな展、グループ展等に利用可能

**市民共用会議スペース**  
時間外利用も可能  
市民協働、行政側の会議室として利用可能

**税務署の単独動線**  
税務署は17時閉庁時に窓口を bypass して退庁可能

**雨に濡れずに利用できる車寄せ**  
ピロティとし、車やタクシーで来庁した際に雨にぬれずに利用可能  
バスも出入り可能な高さ確保

**隣地との緑地帯を確保**  
北側隣地とは緑地帯を設けプライバシーに配慮  
雨に濡れない車いす駐車場6台

**情報発信コーナー**  
待合ロビーと連携

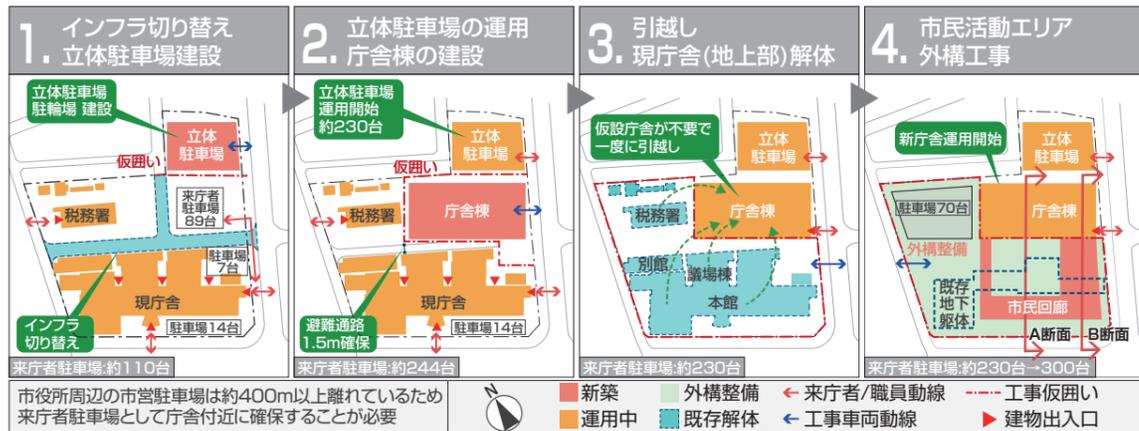
**多目的ホール**  
150~200名収容  
イベント、スポーツ  
会議、防災等活用可能

**食堂・カフェ**  
中庭、常盤通りに面し  
時間外利用も可能

# コンパクト化と既存躯体活用でイニシャルを抑え、環境配慮技術によりランニングコストを抑えたスマート庁舎

無駄のない建設費

## ①. 仮設が不要なコンパクト庁舎と既存地下躯体の有効活用



### 仮設庁舎が不要な建替計画

- 既存庁舎棟を今のまま維持しながら、空地を活用して一度に庁舎棟を建設します。
- 庁舎棟に全ての庁舎機能と税務署を配置するため、費用のかかる仮設庁舎が不要です。

### 仮設駐車場が不要な工程計画

- 立体駐車場工事を早期に着手することで、庁舎棟を建設中に来庁者駐車場を既存庁舎の近くに確保することが可能です。
- 工事中の駐車場用地の確保に関わるコストを削減し、更に設計期間中に駐車場工事着手可能で工期を短縮します。

### 立体駐車場によるコスト増を 既存地下躯体の活用により解消

- 既存地下躯体を各種水槽として活用し、地下躯体の解体や埋め戻し、既存建物の杭撤去が不要となり、コスト削減が可能です。
- 地下躯体を残すことで「広場」の地盤沈下と液状化を防ぎます。

### 高低差を活用し掘削土量を削減

- 敷地の高低差をそのまま活用することで掘削土量を削減し、コスト・工期を短縮します。
- 1FLを約40cmかさ上げし排出土を削減します。
- マットスラブを採用することで、掘削深さを浅くし、排出土を最小限に抑えます。

### 整形でシンプルな庁舎構造がコスト・工期を短縮

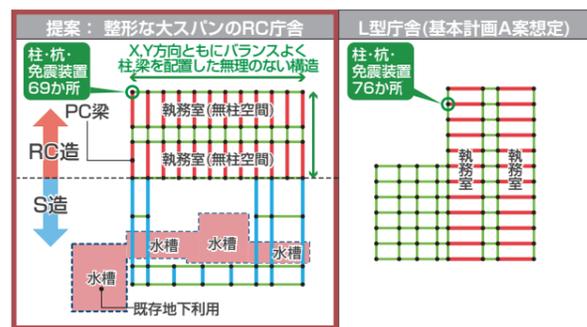
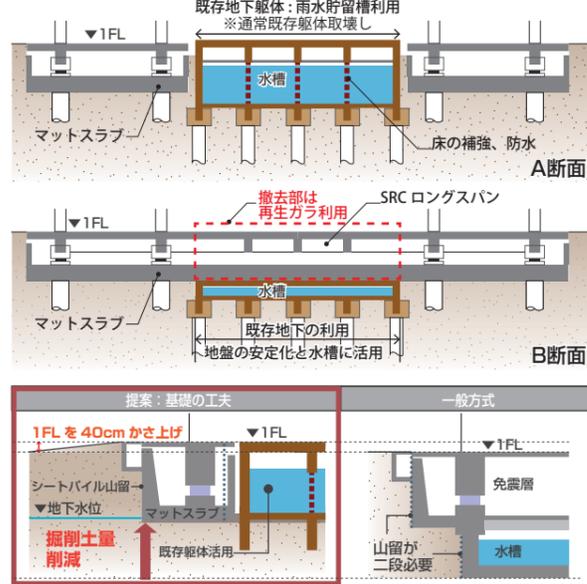
- 整形でPC梁によるRC造庁舎棟と軽量ロングスパンS造市民回廊からなる免震庁舎の構造は、杭や免震装置を削減、さらに工期を短縮する経済的で無駄のない構造です。

### 認定品の立体駐車場でコスト抑制

- 立体駐車場は大臣認定品を活用することで耐火被覆や消火設備が不要となり在来工法と比べ5万/m<sup>2</sup>の削減が可能です。

提案によるコストの増減	
既存地下躯体の活用	-12,500万円
掘削土量の削減	- 6,500万円
整形でシンプルな庁舎の構造	- 8,500万円
認定品の立体駐車場(230台分)	+ 25,000万円
基本計画からのコストの増減	- 2,500万円

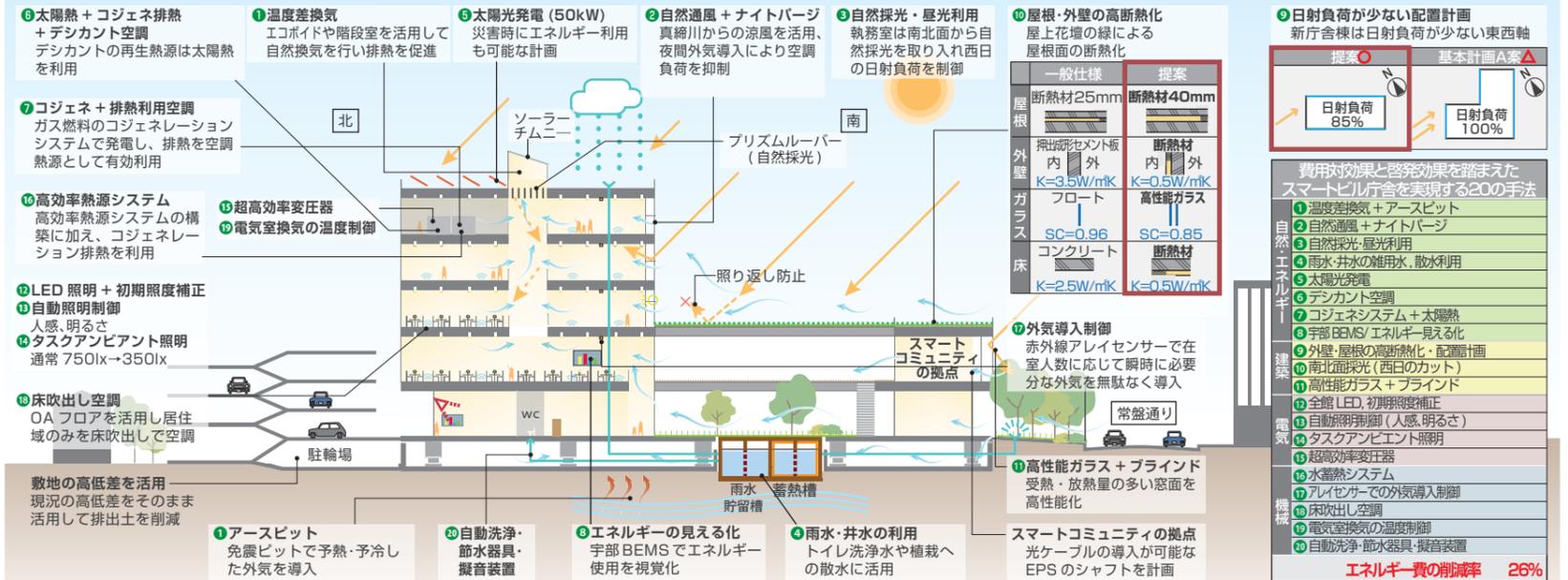
	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
立体駐車場	工事	供用開始	工期短縮で工事経費の削減 一度に引越	
庁舎棟		工事	供用開始	
解体 市民回廊	発注	道路インフラ切り替え・古洞対策	市民回廊	
外構		地下躯体を活用するためA案より先に「グランドオープン」	外構	
駐車場		市役所周辺約400mの市営駐車場または借上げ駐車場		
庁舎棟		工事	供用開始	
解体工事	発注	道路インフラ切り替え・古洞対策		
外構		解体①:上屋解体 解体②:地下解体 埋め戻し	外構	



環境に配慮した市役所のスマートビル化

## ②. 瀬戸内型気候を活用し、エネルギー費を抑制するスマート庁舎

世界的に評価された「宇部方式」の理念のもと、宇部市スマートコミュニティ構想を実現する庁舎



### 宇部の自然の力を活かす 太陽と風を活かした自然換気

- エコボイドと階段室を利用した温度差換気+卓越風を利用した誘引効果で自然換気を促進します。

### 井水のカスケード利用

- 一年中安定した井水を空調熱源として活用した後、トイレ洗浄水や植栽への散水に無駄なく活用します。

### 超高効率の空調システム

- コジェネレーション排熱や太陽熱をデシカント空調機及び吸収冷温水機で利用します。
- 潜熱顕熱を分離した空調システムで、中温水を活用し、熱源の効率化を図ります。

維持管理費・更新費・修繕改修費の抑制

## ③. 立地に配慮した維持管理の計画

### 塩害地域対策

- 外装材や外部の設備機器は腐食しにくい材質とします。
- 塩分を洗い流すための水洗を各所に設置します。
- 基準階外周部には、日射制御、清掃スペースとしてバルコニー設置を検討します。
- 躯体のかぶり厚を適正に確保し鉄筋の腐食を防ぎます。

### 様々な維持管理・更新・長寿命化の工夫

維持管理	メンテナンスルートの確保 メンテナンスフリーの外装材やノンワックス床材を採用 照明器具の種類を減らし、球替えや器具交換を軽減 多目的ホールや議会などの空調機は床置き式とし脚立なしで容易にフィルター交換できる計画
更新	乾式間仕切りや鋼製床を用い将来改修しやすい計画 機器更新に備え、機械室への搬入ルートを的確に確保 DS、EPSは予め更新スペースを含めて確保
長寿命	構造体の長寿命化 塩化ビニル管など耐久性の高い配管類を採用 耐塩性に優れた高電圧ケーブル防護管を採用

### 新庁舎に適したスマート技術を活用する オンデマンドの環境制御

- 人員数が変動しやすい窓口や多目的ホール、会議室は、赤外線アレイセンサーを設置し、人数を把握して適正に空調・照明制御を行うオンデマンド環境制御システムとします。
- 本制御はCO2制御に比べ20%の省エネ効果を発揮します。

### エネルギーの見える化

- BEMSを活用し部署毎にエネルギーの使用状況モニターに表示し、「光熱消費量の見える化」を行います。

### エネルギーマネージメント支援

- 供用後も維持管理に継続関与し、PDCAサイクルで省エネルギー化を支援します。

維持管理費・更新費・修繕費・ライフサイクルコストの抑制

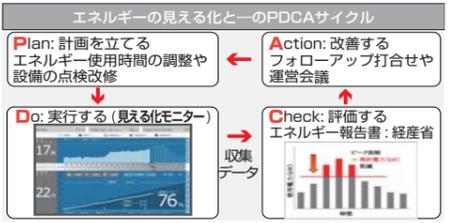
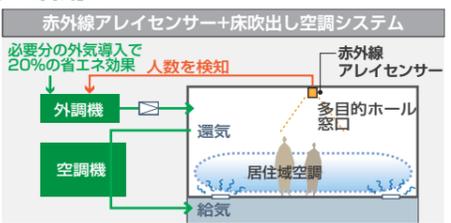
## ①+②+③+100年庁舎でLCCを24%削減

### 100年庁舎で長寿命化

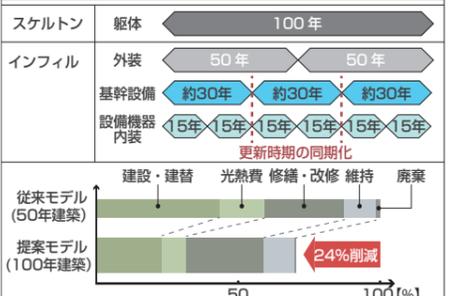
- 長期耐久性の設計強度をもつ構造体とします。
- 設備の更新時期を30年ごとに同期化します。

### LCCを24%低減

- ①建設費+②エネルギー費+③維持管理・更新・修繕費の削減でLCCを総合的に削減します。



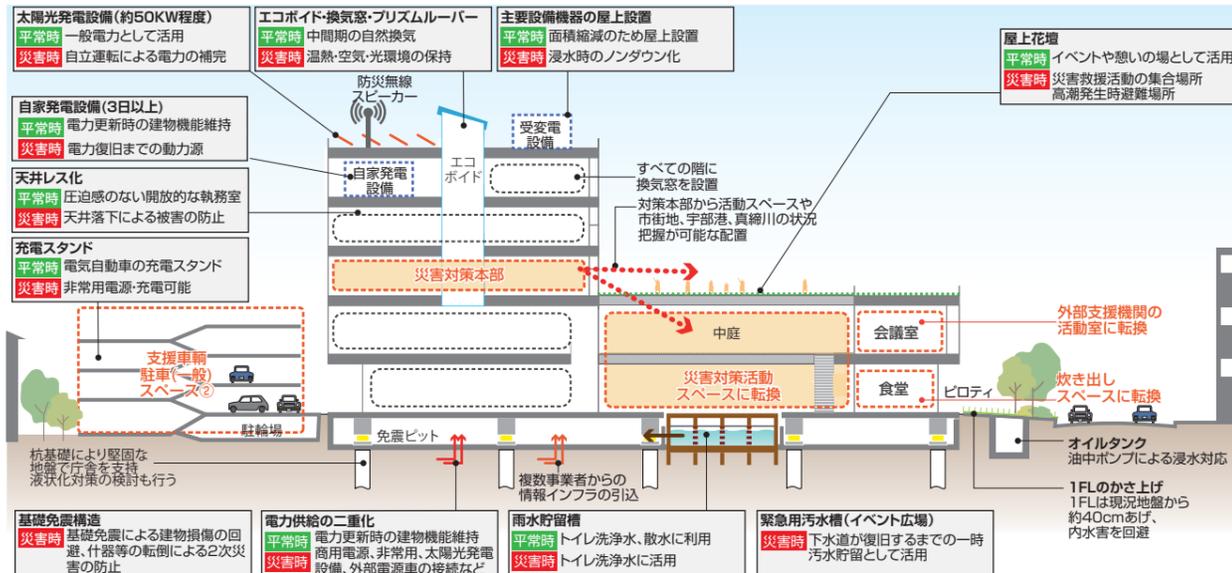
### 建物の長寿命化によるコスト削減



# 宇部市が時代を超えて永くにぎわいを創出するために

有事における災害対策.BCP

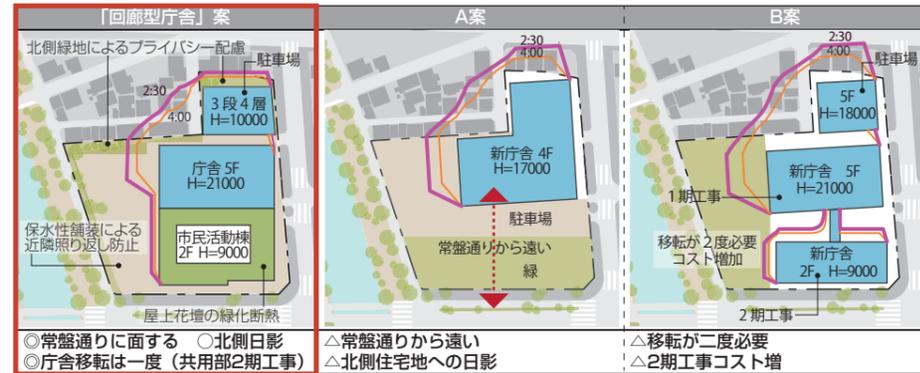
## 平常時の設備が災害時に機能する、無駄のないBCP庁舎・高度な防災拠点



## 近隣周辺環境・景観との調和 日影など近隣環境への影響を最小限に抑えた計画

基本計画でのデメリットをメリットにかえる「回廊型庁舎」

- 北側の住宅地への日影の影響を最小限に抑えるシンプルな矩形庁舎
- 北側隣地境界は緑地帯を設けプライバシーに配慮
- 低い敷地レベルを活用し立体駐車場による日影を最小限に抑える



## 過去の災害状況を踏まえ、庁舎機能を確実に維持できる庁舎

### 地震

- 基礎免震+鉄筋コンクリート造+鉄骨造により地震動応答加速度の低減
- 天井に仕上や設備を設けない計画、家具は構造体に固定する

比較	基礎免震	中間免震	部分免震
構造形式			
安全性	庁舎全体が免震	庁舎上部が免震	庁舎一部が免震
評価	◎	△	△

### 高潮・水害

- 止水板設置、3階屋上花壇が高潮避難場所
- 電気・機械室、通信・防災監視盤は上階に配置
- 免震装置に対する3重の止水対策(①②③)

### 台風

- 耐風圧強度に配慮した建具、外壁などの設計
- 局部風圧の大きな庇は強度の高いRC造とすることでガラス脱落防止に寄与
- 最大降雨量(平成9年10分間27mm)2倍の排水能力

### 停電対策

- 地震・落雷・水害などでの送電ルートの遮断に対応できる電力供給システムを構築

### 火災

- 災害時、真綿川水源の活用検討
- 避難安全検証を行い、余裕をもって避難しやすい計画
- 延焼を防ぐ隣地境界の植栽帯

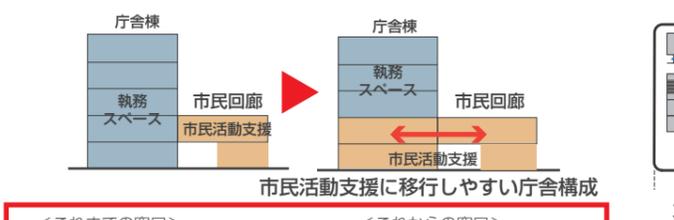
### その他

- 既存地下躯体を各種水槽として活用し、浸水・集中豪雨対策、植栽・トイレ洗浄水利用に寄与
- 地下躯体を残すことで「広場」の地盤沈下と液状化を防ぎ、更に解体工事費と工期を削減

## 庁舎から多機能複合施設へと変化する余剰面積活用 お客様目線の市民サービス窓口の可能性「宇部窓口サロン」

庁舎棟低層階が市民活動支援の場へ

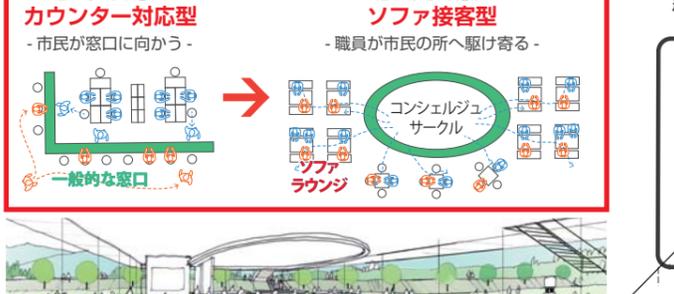
- 将来の人口減少・ICT化による行政サービス面積の縮小に対し、市民活動支援機能「市民回廊」が拡大していくと予想されます。
- 将来余剰化する庁舎棟1、2階は、市民回廊と一体となった市民活動支援の場へ変化、連携しやすい構成です。



### 「ソファ接客型」窓口

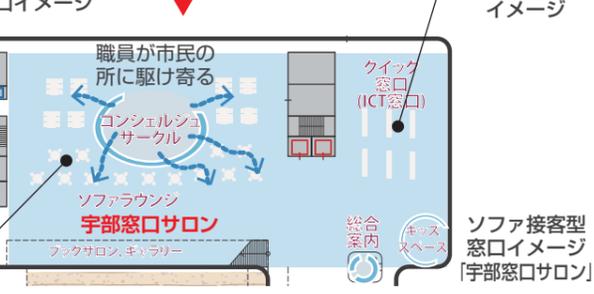
#### 市民目線での市民活動支援サービス

- 将来の窓口は、ICTによる「クイック窓口」と福祉、教育・産業など多様化する市民活動を支援する「じっくり窓口」に2極化すると予想されます。
- 「じっくり窓口」は、これまでの「カウンター対応型」窓口に対し、職員が市民の元へ駆けつけ待たせない、お客様目線の行政サービス「ソファ対応型」窓口を提案します。



### これからの窓口の可能性「宇部窓口サロン」

- 「ソファ対応型」による窓口部門を「宇部窓口サロン」として、多様化する市民ニーズに対し「おもてなし」で応える宇部独自の市民サービスの場を考えていきます。



### 総務省「働く場の改革」への移行支援

- 総務省が進めるフリーアドレス、ペーパーレス、チーム型テーブルなどによる「質の高い行政サービス」改革への移行に対し、コミュニケーションの活性化、無駄のない空間づくりをお手伝いします。

## 市民自らがつくる、多極ネットワーク型コンパクトシティ 出会うのループがつながる「歩いて暮らせるまちづくり」

- 市庁舎周辺は多極ネットワーク型コンパクトシティ:都市拠点として多様な機能が集まった場所です。「歩いて暮らせる街づくり」に向けて、各場所での特徴をつなぐ「ループ」を設定し、市庁舎が結節点となってまちをつなぎます。



## 市民自らがつくる、まちづくり拠点機能の充実 ヘルスケアシティの行政拠点としての「情報発信コーナー」

宇部の特徴である医療福祉・ICT・大学・企業・芸術を核とした情報発信コーナー

- 「健康なまちの実現」をキーワードに宇部の特徴ある医療・健康・緑・芸術・ブランドなどによる情報発信コーナーを市民と共につくることで、活力あるまちづくりの原動力となります。

- <産学官民の連携による医療福祉情報のICT支援> 山口大学、地元企業など診断・予防・治療に展開する医療情報を基に予防を含めた生活医療情報をICTにより市民に提供する場の開設。
- <緑と花と影 刻のまち宇部 インフォメーション> 彫刻ウォーキング、大人の社会派ツアー、宇部周遊プラン等
- <健康で長生き、子育て充実の実現のための窓口> 市内病院や医療従事者との連携を図り、子育て世代、高齢者が健康相談や生きがいを相談できる窓口の開設。
- <ふるさと企業家 PRコーナー> 現在窓口開設しているコーナーを拡大し、若者みらいセンターと協働で起業家支援を行う
- <宇部元気ブランド>の発信 山口県の空の玄関である宇部の海産物、スイーツ、酒等の提供・販売。農工商の連携やヘルシーフードの販売促進 アンテナショップ